



▲防犯対策などについて関係機関にて協議

みんなでつくる安心のまち 「甲佐町安心・安全まちづくり推進協議会」

5月15日（水）町本庁舎で「令和6年度甲佐町安心・安全まちづくり推進協議会」第1回会議が開催されました。同協議会は犯罪や事故防止の対策の協議、町民の安全意識の高揚を図る啓発などを目的に設置。今回は、御船警察署から御船署管内の交通、犯罪情勢などの講話のほか、防犯カメラの設置やあゆまつりのパトロール実施についての協議が行われました。



▲緑川でアユ釣りを楽しむ釣り人

アユ釣り愛好家集まる 6月1日アユ釣り解禁日

6月1日（土）緑川を含む県内河川でアユ釣りが解禁となりました。アユ釣りのポイントとして知られる緑町の中甲橋グリーンパーク付近には、この日を待ちわびた釣り人や愛好家が集まり、思い思いに竿をふるいました。甲佐の夏の風物詩である緑川のアユ釣りの風景は、秋ごろまで楽しめます。また同日、やな場の夏営業が開始されました。



▲小坂小と甲佐小の児童が育てた花の種を植える白旗小の子どもたち

いのちの種をつなぐ 「人権の花運動」伝達式

5月21日（火）白旗小学校で「人権の花運動」伝達式が行われました。この取り組みは、子どもたちが花を育てることによって生命の尊さを学び、優しさと思いやりの心を育むことを目的に、法務省から委託を受け、町教育委員会が実施。本町の人権擁護委員と協力しながら、収穫した花の種を次の学校の子どもたちにつなぐことで人権を守ることへの理解を深めます。



▲松永代表取締役（左）に感謝状を手渡す甲斐町長

町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

5月14日（火）町本庁舎で、本町へ寄附いただいた未来創造株式会社（熊本市・松永浩司代表取締役）に感謝状が贈られました。今回、同社からいただいた寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲町長から伝達された勲記を手にする岩村さん(左)と園田さん(右)

長年の功績をたたえて 高齢者叙勲・旭日単光章受章

地方自治の発展に貢献したとして旭日単光章を受章した岩村辰雄さん(南三箇区)、園田信哉さん(横田区)に勲章と勲記が手渡されました。高齢者叙勲は、優れた行いのあった方などに対し、88歳に達した機会にその功績や業績を内閣総理大臣が表彰するもの。2人は長年にわたり町議会議員として本町の発展に貢献した功績などが認められ今回の表彰となりました。

地域社会で育てる子どもたち 令和6年度乙女小「まつやま塾」が開講

5月27日(月)令和6年度乙女小学校まつやま塾が開講しました。

乙女高齢者福祉センターで行われた開講式では、指導者の紹介や活動での注意点などの説明があり、参加者は真剣な表情で耳を傾けました。

同塾は、地域社会で子どもたちを育てることを目的に町教育委員会が住民の協力を得て、平成20年から放課後に開講。米作りやソーメン流しなどの体験活動を計画し、同小学校を中心に年間36回、活動を行います。

5月29日(水)には、「ジャガイモの収穫」が行われました。参加した子どもたちは、町から委嘱を受けた地域の指導者の教えのもと、同塾が管理する畑でジャガイモの収穫を体験。子どもたちは一生懸命に土を掘り起こし大きく育ったジャガイモを次々と収穫しました。また、6月13日(木)にはサツマイモの植え付けも行われ、子どもたちは協力し合って出来栄を確認しながら、苗の植え付け作業を行いました。



▲多くの来場者で賑わう物産展の様子

本町の物産と観光をPR 第17回甲佐町観光物産展

6月6日(木)熊本市のびびれす広場で第17回甲佐町観光物産展が開催されました。本町の魅力ある物産や観光資源、郷土文化などを町外にPRすることを目的に、甲佐町商工会(中村幸男会長)が主催。町内から13店舗が出店し、多くの来場者が本町の特産品を買い求めました。また、甲佐高校の生徒も参加し、各ブースで販売実習を行いました。

▼ジャガイモの収穫を楽しむ子どもたち



▲サツマイモ植え付けの様子



▲開講式の様子